



四中だより

令和7年(2025年)

10月1日(水)

豊中市立第四中学校



今日から後半、明日から中間テストです。

「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言ったもので、あの暑さが嘘のように一気に季節は進み、秋が深まってきました。

スーパーには緑色のミカンもお目見えしてきましたね。緑色のミカンを見ると体育大会シーズンだなあと感じます。

体育の時間、グラウンドでは走る姿が見え、体育館ではソーランの練習が始まりました。

今日から10月。いよいよ、今年度も後半です。

出会いの春、そしてあまりにも熱い(暑いが正しいでしょうが熱いを正解にしてもいいのではと思うほどの)夏が過ぎて、次の春へと、短い秋と厳しい冬に向かっていきます。

まずは、明日明後日の中間テストです。3年生はここからです。ここから伸びてくる人は本当に強い人です。最後は自分の弱い気持ちとの戦いです。

1年生や2年生の中には、中学生活に慣れてきて緩んでグラケテいく人と、中には夏休みなどの長期休暇にコツコツ苦手を克服して、中学校のスピードややり方に追いついて少しずつ着実に伸びてくる人もいます。ウサギと亀の話みたいです。

大切なことは、ただ受けているだけとか行ってるだけというのではなく(それでも十分OKっていえばOKなのですが)、「自分から」という主体的な、受け身でない姿勢なのです。

筋トレ一つとってもその部位を意識しながらするのと、何となくただやっているのとでは違うそうですよ。「自分から」「意識的に」がとても大切です。

体育大会も、3年生の卒業後の進路に向けての一步一步も、11月にある2年生の職場体験も、1年生の合唱祭も、毎日の生活も、「自分から」「意識的に」を頭の片隅に置いて頑張ってください。

逃げている人と、何となくしている人と、自分から意識的にしている人との差は、明らかに違ってきます。



改めて言います。今日から**後半**です。自分を鍛えるのは自分です。

各学年の10月の主な行事

- 全学年： 中間テスト（2日・3日）、体育大会（23日）
- 1年生： 合唱練習（31日）
- 2年生： 職場体験に向けての取り組み
- 3年生： 共生学習（29日）、進路保護者説明会（29日）、実力テスト（31日）

一つ一つを^{たいせつ}大切にすること

ところで、行事は何のためにあるのでしょうか。考えたことはありますか？

行事は本番を頑張ったらいいのでしょうか。もちろん、本番だけではダメですね。

放っておいても日が経てば本番は来ます。

例えば体育大会。2年生、3年生ともなれば、本番にそれなりに形を作ることはできるでしょう。

でも、そこじゃないんですよね。

「本番に向けて作りあげていく」、この「あげていく」というところに難しさがあり、難しいことをやり切って感動が生まれてくるのです。

今はお金を出したら、それなりに努力しなくても楽しい思いができます。

そういうことで得ることが「楽しいこと」だと思いませんか？

もちろん、そのために頑張って貯金して、その楽しさを獲得することも大切なことです。

学校での楽しいことの多くは、協力したり、乗り越えたり、物ではなかったり、すぐに結果が出なかったりします。

そして、「ひとりで」と「みんなで」との、どちらも求めます。

体育大会や合唱祭は、「学校」のような場所だからこそ求めることのできる「楽しさ」です。

昨日、ソーラン節の振り付けの体育の授業を見ていました。

動画を見ながら、一挙手一投足を覚えていくのですが、映像の下の方には、きちんと腰を落とす、手首を90度に曲げる…といったふうに、その動きのポイントが示されていて、とてもわかりやすい動画でした。

一人ひとりが一つ一つのきつい動きも音楽に合わせてきちんと作り上げます。

そして、それをみんなで合わせてシンクロさせて全体の美しさを作り上げます。

これは大変な作業ですね。やりきれるのでしょうか。聞くところによるとそうです。

私にとっては、初めて見る四中の体育大会。その日をとっても楽しみにしています。